

# たこかへし

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 挑戦 そして 思いやり

校長 加納 直樹

春の光はどこまでもまばゆく、生きとし生けるものが躍動する素晴らしい季節を迎える。心弾む季節と言いたいところですが、人類が新型コロナウイルス感染症の荒波にのまれ、すでに2年が経ちました。3月末から東京都でも感染者が再び増え始めています。このような状況ではありますが、私たちはしっかりと前を向き、一歩一歩確かな歩みを進めていきたいものです。

さて、この度、7名の新しい先生方、70名の新入生を迎える、令和4年度の高井戸第四小学校がスタートしました。本校の学校教育目標は、昨年度同様、○進んで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子 ○協働する子です。そして、目指す児童像は「自ら未来を切り拓き 心豊かで たくましい児童」です。

さらに、目指す学校像は「1 子供たちみんなが友達や先生に会いたいと登校してくる高井戸第四小学校 2 保護者からこの学校に子供を通わせてよかったですと思われる高井戸第四小学校 3 地域の方から愛され、地元の誇りだと感じてもらえる高井戸第四小学校」です。

学校教育目標の具現化に向け、始業式、入学式で子供たちに小学校生活を有意義に過ごすために必要な2つの心構えについて話をしました。

一つは、「挑戦し続ける心」です。何事にも清く正しい目標をもち、一歩一歩努力を惜しまず挑み続ける心、そんな気持ちを大切にしてほしいと思っています。夢や目標が大きければ大きいほど、「無理かも」「うまくいかないかもしれない」といった弱い気持ちが生まれてきます。しかし、「絶対にやるんだ」と強く思うことからすべては始まります。願えば願うほど、自分の力は大きくなる、そう信じて「できない」を「できる」に変えていくのです。人の力は未来に向かって必ず大きくなっています。自分で限界を決めず、今日できなくても明日きっとできるようになる、そう信じることが、大きく成長し、夢をかなえる近道です。

もう一つは「思いやりの心」です。他人の痛みや苦しみ、喜びを自分のことのように感じることができる「思いやりの心」。中国の孔子という人の言葉を集めた「論語」の中にも、この世で一番大切なこと、一生実行し続ける価値のあることとして、思いやりの心を挙げ、「互いにゆるし合い、自分がされていやなことは、決して人にはしない」という思いやりの心をもち続けることが大切である。と述べています。他人を思いやることは自分を見つめ直すことになります。思いやりにより互いに助け合う友達の輪ができます。そして、思いやりは行動のエネルギーにもなります。そのエネルギーは、学校生活を楽しく充実させることにつながります。

「挑戦する心」「思いやりの心」この二つの心を大切にすることで、皆が生き生きと活動し、笑顔あふれる高井戸第四小学校を実現することができる、そう信じています。

教職員一同、全力を挙げて児童一人一人の成長のために努力していきます。人格形成の基礎となる成長著しい小学校時代です。学校と家庭が同じ方向を目指し、協力していくことが何よりも重要です。ぜひご家庭でも、お子さんの日々の姿、努力のあとをしっかりと見つめ、時には温かく、時には厳しく、守り、励ましていただきたいと思います。未来を担う高4の子供たち、地域の方も必ず応援してくださいます。

学校・家庭・地域が一丸となって、よりよい学校づくりを目指した取り組みを進めていきたいと思います。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

春に

谷川 俊太郎

この気もちはなんだろう  
目に見えないエネルギーの流れが  
大地からあしのうらを伝わって  
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ  
声にならないさけびとなつてこみ上げる  
この気もちはなんだろう  
枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく  
よろこびだ しかしかなしみでもある  
いらだちだ しかもやすらぎがある  
あこがれだ そしていかりがかくれている  
心のダムにせきとめられ  
よどみ渦まきせめぎあい  
いまあふれようとする  
この気もちはなんだろう  
あの空のあの青に手をひたしたい  
まだ会ったことのないすべての人と  
会ってみたい話してみたい  
あしたとあさってが一度にくるといい  
ぼくはもどかしい  
地平線のかなたへと歩きつづけたい  
そのくせこの草の上でじつとしていたい  
大声でだれかを呼びたい  
そのくせひとりで黙っていたい  
この気もちはなんだろう